

ソニーグループ株式会社

知的財産を戦略的ビジネスエンジンへと 変革

ソニーグループ株式会社は、クリエイティブエンタテインメントカンパニーとして世界をリードする企業であり、知的財産をイノベーションと事業戦略の原動力として再定義してきました。多様な事業領域にわたる複雑な知財ポートフォリオ管理という課題に直面する中で、ソニーはアナクアのAQX®プラットフォームを活用したハイブリッド型の知財管理モデルを採用しました。

このアプローチにより、知財活動の全体統括と機動的な運用を両立し、知財戦略を事業目標に沿って整合させるとともに、業務の効率化や高度化を進め、新たな分野における将来のイノベーションへの備えを可能にしています。

課題

- **多様化した事業構造:** ゲーム&ネットワークサービス、音楽、映画、エンタテインメント・テクノロジー&サービス、イメージング&センシング・ソリューションなどの事業領域にわたる知的財産の管理には、柔軟でありつつも統一されたアプローチが求められるようになった。
- **イノベーションサイクルの加速:** 技術革新のスピードが増す中、より迅速で戦略的な知財に関する意思決定力が求められるようになった。
- **データアクセスとコンプライアンス:** グローバル規制を遵守しつつ、すべての関係者が知財データにアクセスできる環境の確保が不可欠になった。
- **既存領域と新興領域のバランス:** 祖業のエレクトロニクス分野における集中型管理と、ゲームや音楽といった急成長分野における機動的な知財管理との両立が課題になった。

「従来の管理手法ではもはや十分ではないビジネス環境になりました。変革に備えたマインドセットが必要です。そしてそれが、アナクアを選んだ主な理由のひとつでもあります。」

下田平 麻志 氏

ソニーグループ株式会社
知的財産・技術標準化部門 部門長

ソニーグループ株式会社について

ソニーグループ株式会社は、テクノロジーに裏打ちされたクリエイティブエンタテインメントカンパニーです。ゲーム&ネットワークサービス、音楽、映画、エンタテインメント・テクノロジー&サービス、イメージング&センシング・ソリューションなどの事業を展開し、「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」ことをPurpose（存在意義）としています。

「私たちは、技術を保護するだけでなく、事業成長を牽引する知的財産を目指しています。そしてそれは各事業部門との緊密な連携のもとで実現されます。」

下田平 麻志 氏

ソニーグループ株式会社
知的財産・技術標準化部門 部門長

ソリューション

ソニーは、アナクアのAQX®プラットフォームを活用したハイブリッド型の知財管理モデルを採用。これにより、グループ全体での中央集約的な管理と、新興事業領域でのアジャイルな管理実行体制を両立。主な取り組み：



グループ全体での特許・
商標・意匠の
データ標準化



新興事業部門に対する
分散型の知財運用体制



AIを活用したポートフォリオ分
類、日本語特許要約、知財
資産の戦略的再評価



クラウドベースの作業環境・
コラボレーション環境により
包摂性・アクセシビリティ・コン
プライアンスを確保

取り組みからの成果

- **戦略的な知財アラインメント:** 知財は防御のためだけの仕組みではなく、事業戦略を形成する重要な経営ツールの1つとして活用されるようになった。
- **業務効率の向上:** AIによる自動化とグループ全体の知財データの一元管理により、高付加価値な戦略的業務にリソースを集中できるようになった。
- **業界横断的な知見の活用:** アナクアを活用することで得られるグローバルベストプラクティスや他社知見を活かし、知財戦略の継続的な進化を実現。
- **将来への備え:** アナクアのAQX®プラットフォームにより、生成AI、コンピューティング、センシングといった新領域の知財管理にも対応可能な体制を構築。

「新たな機会を捉えるためには、
知財を真のビジネスツールとして
活用し、成長を支えることが不
可欠です。そしてその成長競争
は日本国内だけのものにとどま
りません。」

下田平 麻志 氏

ソニーグループ株式会社
知的財産・技術標準化部門 部門長

将来展望

ソニーは、すべての事業において知的財産を成長エンジンとすることを目指しています。データをもとにした協働的かつグローバルな知財戦略を推進することで、既存事業と新興市場の双方でリーダー的地位を確保し続けます。

アナクアのAQX®は、組織のニーズに合わせて最適化された業務フローの自動化を実現し、生産性の向上、オペレーションやデータの可視性強化を支援します。特許調査・検索から権利化、維持更新までの一連のプロセスを包括的にサポートし、商標、異議申立、争訟、TTAB手続き、契約管理などにも高い対応力を発揮します。また、180を超える世界中の法域に対応したデータ検証機能により、常に正確でクリーンなデータをグローバルに一元管理することを可能にします。詳細はContactJapan@anaqua.comまでお問い合わせください。



ANAQUA®

〒100-0004
東京都千代田区大手町2-6-4
常盤橋タワー9F
株式会社 アナクア
ContactJapan@anaqua.com

BOSTON

31 St. James Avenue
Boston, MA 02116, USA
+1 617 375 5808

WWW.ANAQUA.COM